

令和4年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 21
千葉県立八千代高等学校 全日制の課程 家政科

1 期待する生徒像

被服製作や調理実習などの専門的な学習に取り組み、質の高い技術を習得しようとすると同時に、学校家庭クラブ活動をはじめ地域への貢献活動に意欲的に取り組む者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の2つの検査の結果
ア 面接	受検者5名・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ約10分
イ 適性検査	はさみを使った簡単な作業 受検者5名・評価者2名の適性検査 検査時間：1グループ約5分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 第3学年の必修教科で評定1または2がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が20日以上、3年間の合計が45日以上の場合、 審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	生徒会活動、部活動、その他の活動等について、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査〔80点満点〕

①面接〔40点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準に達していない）の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 家政科に対する意欲	家政科での高校生活に意欲的に取り組もうとしている。
イ 礼儀・作法・身だしなみ	基本的なあいさつ、対人作法等が身につけており、服装、頭髪等の身だしなみが整えられている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、わかりやすく回答をすることができる。
エ ものの考え方	家政科での学びにふさわしい考え方をしている。

②適性検査〔40点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準に達していない）の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア はさみの使い方	はさみの扱い方に慣れ、利き手に合わせたはさみを使い、適切に作業できる。
イ 作業の正確さ	指示された形とおりに、滑らかに作業がおこなえる。
ウ 作業効率	効率よく作業ができる。
エ 理解度	指示内容を的確に理解し、指示通りに作業できる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接・適性検査）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の得点	調査書の得点	学校設定検査の得点		総得点
	評定 (K=1)	面接	適性検査	
500点	135点	40点	40点	715点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。